

公表 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2025年 4月 末日				
舞鶴こども療育センター 保育所等訪問		2024年 12 月 1日時点			回収数 22施設	
利用施設数 23施設						
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援の役割やサービス内容の説明は、わかりやすかったですか。	91%	9%		分かりやすく実践しやすかった。 保護者の方とのやりとりなどフィードバックして下さり、有り難かったです。 初回に説明していただき、よくわかりました。 指摘内容が明確でわかりやすい。		
2 当センターと適切に連携を取れていると思えますか。	91%	9%		月1回の訪問で連携は取れている。 カンファレンスがあったことで、児童との関わり方を具体的に考えられました。 様子を見て訪問回数を考えて頂いたりできました。 担任・保護者・センターでとれている。 センターでの様子を教えてもらったり、園の様子を見てもらったりできてよかったです。  もっと連携が取ればよいと思います。	訪問時にセンターでの児童の情報などを共有し、また園での様子を実際に見たり教えていただくことで、センターでの診察等に活かさせていただいています。またその話した内容については、訪問報告を通じて、保護者にも伝えさせていただいています。今後はより連携を取るためにどういったことが気になるのかを更に聞かせてもらうように努めます。	
3 児童に対して、訪問員が直接関わる支援は効果があったと感じておられますか。	82%	14%	5%	具体的にまた本児に合った支援(声かけ)をして下さり、効果があった。 訪問員の声掛けで一度も入れなかったプールに入ることが出来た。 訪問員の関わり方を見て私たちも指導や支援に取り入れる事ができました。 特に休み時間の支援が効果的であった。 先生と子供の関りを見て、学ばせてもらうことがありました。  支援の効果が持続するところまでは難しかった。 本人は特に問題を抱えずに学校生活を送ることが出来ていたため。 直接かかわる支援は行っていません。	児童によって、また学年によっては、直接指導は行わず、行動観察にとどめ、実際に日々関わる先生方への助言のみになる場合もあります。またあくまで限られた時間の少ない関わりになるので、直接支援については、きっかけであり、先生方が関わる中での一つの例として捉えていただきたいと思います。	
4 先生方への助言や提案など、間接的な支援は効果があったと感じておられますか。	91%	9%		食事でのサポートや園庭で遊ぶときの約束などその場で対応の方法等教えていただけたのが良かったです。 分からず困っていたことを助言してもらい、納得できる支援ができるようになった。 私自身が気付けなかった行動などを教えて下さり、助かりました。 助言や提案から手立てなどを試し、効果がありました。 今の状況を見て、アドバイスしていただけて良かったです。 学習中にしっかりサポートしてもらえた。 普段の遊びの幅が広がりました。 自分たちでは気づかないところなどを教えてもらい関わる事が出来たので効果があったと思います。  支援の効果が持続するところまでは難しかった。	具体的な支援と、それを日々どのようにすれば行えるかについて、それぞれの訪問先にあわせながら検討していきます。	

5	<p>訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。</p>	95%	5%	<p>具体的な場面で、いくつか方法を教えて下さるので、様々な場面で取り入れることが出来た。 言葉の掛け方、支援の仕方を直接その場で見させていただき、とても勉強になった。 分かりやすい。 本人は特に問題を抱えずに学校生活を送ることが出来ていたため。 本人の行動や担任の悩み事の話から具体的な助言を頂き、取り入れられました。 良いところも言っていただけたので、これでよいんだと思えました。 「学習は先生がリードして道しるべを示しているからがんばれ、生活（遊び）では、自由に道しるべがないため好き勝手をする。学校でも家でも、自由時間に簡単なルールを作ってあげることが大切」と指導いただけ、家族にも協力を求めると徐々に改善しつつあるのでありがたかった。 遊びやかかわり方など、具体的に提案してくださりました。 具体的な関わり方など教えてもらえ、すぐに実践することが出来た。</p>	
6	<p>訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。</p>	100%		<p>無理なく園児の成長段階に応じた回答をしていただきました。 困っていること等をお伝えすると、丁寧に答えてくださる。 質問したことに幾つかのアドバイスをいただけるので、とても参考になります。 毎回の訪問時に面談を行い、回答して頂きました。 保育園での様子など聞いて良かったです。 適時適切であった。 毎回たくさん質問していましたが、いつも答えをくださいました。 わかりやすく教えてもらいました。</p>	

7	<p>保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。</p>	91%	9%	<p>本児にも変化が見られたり、教えて頂くことで、対応の仕方を変えることが出来た。</p> <p>はい、私たちに取ってとても頼りになる存在です。</p> <p>課題を一つ一つ解消していくことができました。</p> <p>相談にも乗っていただけました。</p> <p>多くの困りごとが解消された。</p> <p>春は難しかったことも助言をいただき、かかわり方を変える中でいくつかできるようになりました。</p> <p>困っていることなどすぐに相談が出来たので良かった。</p>	
<p>その他のご意見</p>					<p>ご意見を踏まえた対応</p>
<p>月に一度の観察でも、本児の成長ぶりに喜んでいただいたり、保育者の指導方法の迷いにもやさしくアドバイスをして、とても心強かったです。ありがとうございます。</p> <p>支援について、どうしてあげたらいいか場面に応じた方法を教えてくださったり、こういう時はこう、こういう行動が見られたらこう、と丁寧に教えていただけたので、すぐに対応することが出来ました。とても助かりました！ありがとうございました。</p> <p>ひと月ごとに継続して見ていただいていることで、少しずつの変化も認めてもらうことにより、園としても励みになる。その折々の場面を通して、具体的な声掛けや、支援の仕方を助言していただけるのが有難い。</p> <p>子どもさんによっては、月1ではなく、2カ月に1回のペースでもいいかなと思いました。</p> <p>様々な視点から支援方法を教えていただきありがとうございました。本人のキャパの中で最大の支援ができるように考えて行ければと思います。</p> <p>丁寧に見て下さり、ありがとうございました。</p> <p>毎回訪問支援の度に児童の普段の行動で気付かなかったところなどを説明して下さったり、具体的な支援方法を考えて下さったりすることで私自身も関わり方や声の掛け方等の考えて実践することができました。</p> <p>児童に対してよりも、心配が大きい保護者の想いや今までの経緯を知ることができたことはありがたく感じた。</p> <p>園以外での児童の様子や保護者の考えや生活の様子を共有でき、課題や方向性、または出来るようになったことや成長を共有することも出来、支援する中で連携が取れ良かった。</p> <p>保護者の理解もあり、病歴や療育での様子やテストなどの結果を共有し、就学に向けて適切に働きかけることが出来た。</p> <p>お母さんの悩みに具体的な答えを返してあげられず悩んでいましたが、支援員の先生とお母さんが話す機会があることを知り、私とお母さんだけで解決しなくても大丈夫だと分かり安心しました。園だけでなくお母さんがたくさんの人に相談できる場がありいいなと思いました。</p> <p>訪問支援を受けることで、本児の家庭での様子、また保護者の関りがよくわかった。月1回の訪問の際に実際の園児の様子を見てもらったうえで、普段の様子を聞き取ってくださり、職員の具体的な対応方法や、今後のフォローの進め方など、適切にアドバイスしていただける素晴らしい機会となっています。</p> <p>日々の保育の中でどのように支援すればいいのか悩むことも多く、相談させていただける場があるのはとてもありがたく思っています。</p> <p>どんな質問にも丁寧に答えて下さり、気になっていたことや悩んでいたことが軽くなりました。ありがとうございました。</p> <p>保育所では毎日子どもや保護者と関わる中で小さな変化や様子に気づくことも多く、保護者の子育てに不器用さがあることや、保護者の負担を少しでも軽減することも考えて関わっています。また、保育所では子どもに寄り添うことを大切にしています。本児は押さえつけられることでストレスを感じ、その結果抵抗や拒否の態度が強まる傾向にあります。力で押さえつけることが強くなればなるほど、抵抗力が増すことも懸念しています。言葉がけだけではなかなか落ち着かない様子も見られますが、圧をかけたり、押さえつけたりせずに行える適切な指導をもっと教えて頂けると幸いです。月に一度、保育所での様子を実際に見て頂く機会があることで、本児をより深く理解し、話し合う場を設けることができ、大変感謝しております。その中で頂く助言は参考になることも多く、今後の関わりに活かしていきたいと考えています。</p>					<p>保育所等訪問支援では、集団の中で過ごしていくために、児童が適切な行動を繰り返し経験し、身に付けられるような支援を心掛けています。そのためには、児童にとってわかりやすく、次のステップに向かいやすくなるような関わりが必要と考えます。言葉かけだけでは次の行動に移すことが難しい児童の場合は、児童にとってわかりやすいメリハリのある明確な指示や促し方が望まれます。しかし明確な指示であつてもすぐに児童が分かるわけではなく、ぶれずに明確な指示を出し続けることで早く児童が分かるように促していきます。その為分かるまでの間では厳しく見えてしまうこともあるかと思えます。実際にその児童が出来ること以上のことを求めないように、その際には児童がすべきことと実際にできることをすり合わせながら適切な目標を設定し、関わりを続けることが大切になります。そういったことを踏まえて、支援についてより具体的に伝え、児童に必要な関わり方を共有していければと思います。</p>